

日農中原支部も全日会議である吾福佐に解消しようとして居る。北豊前農氏組合の情勢。

社会大衆党系である北豊前農民組合も日本農民組合と五十歩、百歩である。同組合幹部の最近の行動の一例を挙ぐれば、同組合員一人が地主のため土地を引上げられる時、よし俺にまかせろと幹部が一人で交渉に行き、滞納小作米三年分を押し立て土地は無条件で返して貰った。吾々小作人に取つては土地だけが一番大事なのだ。その土地を返すことを一人で勝手に承諾して来る故に、俺達の敵を多くして何だ。だが注意せねばならぬのは、日農の幹部の放任主義に反し北豊前農民組合では、幾分でも小作米を減免させて居ることである。以上は日農並に北豊前の情勢であるが、その他に三井郡に筑後農民組合がある。これも亦日農と五十歩、百歩である。最近この組合の内の三十数名が吾々の組合に加入した。これは又幹部の指導下にあつては自己の生活を守り得ない事を自覚したためだ。

吾々はかかる右翼組合の指導下にある大衆を、我が全日会議に獲得しなればならぬ。

実行方法 1. 具体的調査を行うこと。特に現在起されて居る斗争とそれに対する斗争方針の調査。過去の斗争に於ける幹部の裏切り

行爲の調査。階級層(貧農から中農)の調査。活動分子、青年の調査。不平不

P8 P7

口草が活動と農本活動を行つて、全会の方針を持ち込むこと。吾々は、あらゆる社会を捕へて右翼組合員と接近し、水入の正体をバカにする。と共に全会の正しい方針を説き、眞面目に大衆の信頼ある人を吾々の組織に獲得すべきである。そしてその獲得した人をして、吾等活動を行はせ、全会の方針を大衆の中に浸透させねばならぬ。この場合全会の方針を素直にしたものだけが分裂して独自の行動をせず、あくまでその組織に止まり、全部を獲得するまでは草及ぼすの活動を続けねばならぬ。又附近の支部からはあらゆる問題に際し、不交際の共同斗争、農季活動等を行ひ、吾々は常にその先頭に立ち、身を以つてその正しい方針を示し、大衆行動の威力と効果を自覚させ、大衆を獲得せねばならぬ。

農村労働者の組織促進に関する件 (三井地区提出)

農村には農業によつて生活して居る者以外に日傭(シヤン)、荷馬車引(カマヤ)、土木工事に働く人夫、その他家内工業労働者等数多くの農村労働者が居る。組合員の中でも二、三反しか小作して居る者は大抵前記の仕事をして居る。又大抵の小作人の子弟は、家を農業を手傳ひながら大部分は前記の仕事に従事して居る。有様である。これ等の農村労働者は、吾々小作人に比べて二層苛酷な搾取と搾取して居る。しかも最も失業の危険に立、これ又最も困窮して居る。従つて斗争性に於ては都市でロレタリアに次ぐものである。

吾々は今迄農民の組織と斗争だけを問題にして来た。だが吾々農民は、ロレタリアの指導の下に初めて自己を解放する事が出来るのだ。従つて、ロレタリアと農民のクサビである農村労働者の組織ととりかゝる事は、左翼農民組